

訪問看護ステーション 連絡協議会だより

第30号

発行年月 2015年9月
 発行所
 一般社団法人
 岡山県訪問看護ステーション連絡協議会
 ☎700-0805 岡山市北区兵団4-39
 岡山県看護研修センター3階
 TEL086-238-6688・FAX086-238-6681
 http://okayama.houmonkango.net/
 E-mail okayama@space.ocn.ne.jp
 発行責任者 石本 傳江

地域包括ケアに示す 訪問看護の力

岡山県訪問看護ステーション連絡協議会

会長 石本 傳江



会員の皆様、残暑お見舞い申し上げます
 6月の総会を終えて、私たちの協議会は

新理事体制となり、会員事業所115、賛助会員1法人47、個人15人のご支援のもと、新年度の活動に出發しました。

来年は創立20周年を迎えますので、記念事業特別委員会を設置し、訪問看護にご功績のあった方の表彰制度など、未来に向けて元気の出る記念行事を検討しております。

地域包括ケアの構築が求められる中、在宅医療の推進はその要となる基盤整備です。疾病を持ちながら人生の最終段階を過ごされる場所として、また、難病や障害を抱えながら地域で暮らす方々の生活の場は、やはり自宅におかれることが理想です。住み慣れた場所で、親密な関係の中で過ごす幸せを支えることができるのは、訪問看護ではないでしょうか。医療・生活ニーズ両面に対応できる看護職の力を地域に示して参りましょう。

小規模でも、地域と密接に係れる利点を生かし、重症化予防や質の高い看取りを目指すことが重要です。そのためには人材確保・定着が最優先であり、ラダー研修をはじめ、支援プログラムの強化に取り組みたいと考えます。

私が特に取り組みたい とされていること

岡山県訪問看護ステーション連絡協議会

副会長 江田 純子

この度、当協議会の理事・副会長をさせていただくことになりました。訪問看護ステーションの現状や課題、今後の展望等をよく見て、考え、感じながら、少しでも皆様のお役にたきたいと考えています。

特に、取り組みたいことは、それぞれの訪問看護ステーションが地域の特性を踏まえ、安定して継続して活動ができるように、人材の確保・育成に関することです。ひとつは、岡山県看護協会が行う「新卒訪問看護師養成プログラム」を活用し、2年間で現場で一人前の訪問看護師に育てることです。二つ目は、管理者の育成・定着を促進するため、管理者の声を聴き、管理者教育が充実するように、行政・関係団体等と連携することです。

平成27年度 岡山県訪問看護ステーション連絡協議会 研修計画

日程	テーマ	ねらい	講師	場所
9/17(木)	訪問看護ステーション開設セミナー	チャレンジャーとしての訪問看護師	(リレー講演) 訪問看護ステーション絆 玉谷弘美氏 富田訪問看護ステーション 藤井京子氏 合同会社岡山在宅看護センター春 赤瀬佳代氏	看護研修センター 4F大研修室
10/4(日)	癌の疼痛コントロール	がん看護における疼痛コントロール及び緩和ケアについて学ぶ	さとう記念病院 薬剤師 水田氏 中島病院 緩和ケア認定看護師 竹内氏	津山中央病院 研修センター
11/7(土)	フットケア 賛助会員情報提供	爪トラブルのケアについて学ぶ	榊原病院 保健師 吉沢裕子氏	岡山ふれあいセンター 第2～第4研修室
12/5(土)	ポジショニング	安全・安楽に生活するために (効果的なポジショニング)	アイ・ソネック株式会社 舟木美砂子氏	岡山・建部医療 福祉専門学校
H28 2/13(土)	フィジカルアセスメント (岡山市合同研修)	フィジカルアセスメント (災害時の対応 呼吸器)実技演習	岡山旭東病院 救急看護認定看護師 石田恵子氏	岡山旭東病院

新設の ステーション紹介

アイリーフ訪問看護ステーション西口

管理者 平田 文子

当事業所は認知症を患う母を安心して預けることが出来る施設を作りたいという事務長の切実な想いから起業した民間施設が母体の訪問看護ステーションです。訪問看護では認知症のみならず、小児から医療依存度が高い方、高齢者の看取りまで幅広い方々を対象に、この事業所を選んで良かった、とっていただけるよう地域の皆様に温かい気持ちで寄り添ってまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。



訪問看護ステーション田尻

管理者 大谷 眞由美

訪問看護ステーション田尻は平成26年10月1日に開設し、平成27年4月1日岡山県訪問看護ステーション連絡協議会に入会しました。

設置主体は医療法人三水会 田尻病院です。美作市内では二ヶ所目の訪問看護ステーションで、超高齢化、過疎化が進み介護力の弱い地域性から独居の利用者様も多くみられます。その人らしく安心して生活ができるように笑顔を忘れずに多職種の方々と細やかな連携を大切に利用者様とご家族様に寄り添うケアを目指しています。

訪問看護リハビリステーションしん

管理者 河原 麻耶

はじめまして、この度玉野市長尾に4月1日から開設させていただいた、〈訪問看護リハビリステーションしん〉です。平均年齢30代の若いスタッフで至らない点多々ありますが、利用者様や地域の方々・関係機関の方々を支えられ、無事開設4ヶ月目を迎えております。これから株式会社での運営という強みを生かし“枠にとらわれない、利用者様の想いに寄り添う看護”を提供できるよう、看護師3名・PT2名で力を合わせていく所存です。今後ともご指導の程よろしくお願い致します。



ココファンナーシング岡山

管理者 仁科 明美

ココファンナーシング岡山は、学研ココファンの「すべての人が心豊かに生きることを願い、今日の感動・満足・安心と明日への夢・希望を提供いたします」との理念の基、サービス付き高齢者向け住宅ココファン妹尾に平成27年5月に併設開設されました。サ高住はもとより在宅の方の訪問も行っております。スタッフは、ベテランです。訪問看護の経験は少ないですが、チャレンジ精神で今まで培った看護力を存分に発揮いたします。

訪問看護ステーションさくら木

管理者 長島 幸江

この度、平成27年6月より、社会福祉法人 優風会 さくら木がスタートしました。

当法人は、特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス、訪問看護ステーション、介護相談センターを併設し、地域医療との連携を密にしています。

当訪問看護では、看護とリハビリの両視点から専門性を持ったスタッフが、利用者様のニーズを共に考え、必要なプランを立てて、安心してご自宅で生活していけるよう支援しております。(今後とも、当施設のご利用お待ちしております。)

ニチイケアセンター

大高訪問看護ステーション

管理者 嶋田 君子

ニチイケアセンター大高訪問看護ステーションは平成27年3月に開所しました。

常勤2名、非常勤2名の4名で活動しています。

ニチイのトータル介護事業で積み上げた現場重視のノウハウを訪問看護でいかしていき、介護・看護の両面からのサポートと情報共有で密な連携を図りお客様の在宅生活を支えます。

訪問看護の経験のないスタッフがほとんどですが、地域の研修・勉強会に積極的に参加し、また地域の皆様を知っていただくため居宅介護支援事業所・病院・施設等訪問してアピールしていきます。



訪問看護ステーションぶどうの家天使のおくりもの

管理者 鈴木 眞由美

「関わらせて頂いた方が安心して住み慣れた地域や自宅、望まれる場所での生活が続けられるようお手伝いをしたい」という思いから平成27年3月に倉敷市船穂町に開設しました。

看護師3人と少人数ですが「小児～高齢者まで経験をした若くてフットワークが軽い」メンバーで日々頑張っています。

どんな時でも利用者様を中心にご家族や多職種と連携をとり、より長く住み慣れた地域や自宅で暮らして頂けるよう取り組んでいます。

そしてNO.1ではなく各利用者様にとってオンリーワンのステーションになれる様、しっかり寄り添い思いを馳せ共に考えながら頑張りたいと思います。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。



敬友会訪問看護ステーション

管理者 桂 寛子

この度平成27年4月より、新たに訪問看護ステーションを立ち上げました。平成24年から定期巡回・随時対応型訪問介護看護を岡山で初めて開設し、その中で訪問看護として携わって参りました。より多くの方に利用して頂けるよう、誠心誠意取り組んでおります。

胃瘻を造設された方、頻回に吸痰が必要な方、褥瘡処置、ターミナルケア等、365日・24時間体制でサービス提供しています。

敬友会の理念である「生活の継続性」と「自己決定」を尊重し、利用者様、家族様、医療、介護、サービス事業者との連携を取り、出来るだけ在宅で生活をする為のサポートを行なえるよう頑張りたいと思いますので、今後とも敬友会訪問看護ステーションを宜しくお願い致します。



訪問看護ステーション晴

管理者 赤瀬 佳代

看護師二人で、今年の3月17日に合同会社岡山在宅看護センター晴(はる)を岡山市北区表町に設立し、7月1日から訪問看護ステーション晴が始動しました。晴では「みんなのところが晴れて、次に進む力の湧く場所」となることをコンセプトに一人ひとりが望む療養生活を送ることができるよう支える「寄り添い看護」を行いたいと思っています。「まちの看護師」として地域の皆様の健康を護る身近な存在となることができればと思います。

「利用者様の笑顔のために」

ステーションからの
リレーだより

「他部所体験研修で訪問看護PR」

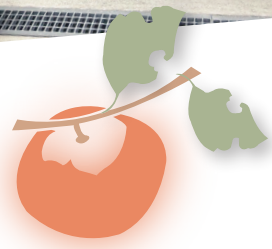
訪問看護ステーションなかしま
管理者 中島 美紀

医療法人 行堂会 ながの訪問看護ステーション
管理者 平田 靖子

当ステーションは、津山市の医療法人和風会中島病院に併設し開設され今年で4年目を迎えます。併設病院は内科で慢性疾患や高齢者が多く、入退院を繰返されるケースが訪問看護の利用に繋がる事があります。入退院を繰返していた利用者様が、訪問看護の介入によりもう何ヶ月も入院をする事なく在宅生活を送られる姿をみると、微力ながら力になれている事を嬉しく感じます。これも各事業所との連携があるからこそその結果ともいえます。在宅生活を支える為、介入するそれぞれの事業所、医療との連携の必要性を日々感じさせられます。併設病院との連携充実の為には、外来、病棟看護師と在宅状況を共有し、スムーズな在宅移行に繋がるような取り組みを行っていますが、他の医療機関・事業所の皆様とも連携が図れるよう頑張っていきたいと思ひます。

小規模ステーションではありますが、ご利用皆様のご要望に応えられるよう連携を大切に、入院中では見る事のできない、利用者様・ご家族の笑顔を励みに、スタッフ一同研鑽を重ねて参りたいと思ひます。

- * 〈どこのステーション?〉
- * 私たちの事業所は県南の総社市にあり、4カ所あるステーションの中の一つです。
- * 平成21年に長野病院併設の事業所として開設し今年で6年目を迎えました。
- * 当初はスタッフ3名でしたが、現在、常勤5名で24時間対応を行っています。併設の病院をはじめ市内の2カ所の訪問診療クリニックや診療所、市外の急性期病院などと連携しながらターミナル期の看取りから精神科訪問看護など幅広く対応しています。
- * 〈どんなステーション?〉
- * 「安心、安全、まごころ」をモットーにしており、利用者さまやそのご家族の心に寄り添った看護を提供できるよう努めています。目指すは「もう一人の家族のような存在」。
- * 在宅看護への想いや気持ちを強く持った熱いスタッフがそろっており、訪問から帰るとすぐミニカンファレンスのような情報交換が行われることも多くステーションはいつも賑やかです。
- * 〈目標は?〉
- * 市内のステーションと協力しながら地域全体を支えていけるよう努力してまいります。市内で療養されているさまざまな方々が安心して生活できるよう、また、頼っていただけるような存在になれるよう日々努力していきます。ご協力、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



一般社団法人全国訪問看護事業協会 20周年記念式典での表彰

あいの里訪問看護ステーション 重平 典子

平成4年から医療法人青木内科小児科医院に勤務し、在宅ケア統括責任者としての経験を評価され、平成27年6月26日に開催された(一社)全国訪問看護事業協会20周年記念式典で、「管理者永年勤続表彰」を受けることができました。全国から147名の方が表彰を受けられ、その一人になることができ大変うれしく思っています。記念式典後の講演会で鎌田實先生が、「『いのち』を守るのは看護師であり、多くの患者はいのちの長さを求めているのではなく幸せを求めている。」と話されました。日々在宅支援で関わっている一人ひとりの「しあわせ」って何だろう? 自分は幸せを与えられているだろうか? と考えさせられる時間でした。ずっとこれからも考え続け「幸せです」と思っただけの関わりができるよう努力していきます。一人でも多くの笑顔がみられるように・・・。



マッチングプラザに参加して

広報委員 高橋幸代

去る、6月10日・11日、コンベックス岡山に於いて「介護サービス博覧会おかやま〜マッチングプラザ」が開催されました。介護サービス、健康・福祉事業所など121団体が出展、2日間で3000名の来場があり、大盛況でした。岡山県訪問看護ステーション連絡協議会のブースでは、“活歳君” “アロマオイルを使用しているハンドセラピー” “血圧測定”を実施しました。訪れた方は300名以上と年々来場者が増える中、「昨年も来て良かったから今年も楽しみにして来ました」、「“活歳君”で年1回、チェックしてもらおうです」との声もあり、訪問看護ステーション

ブースの定番になって、期待が大きくなっていると感じます。また色々な分野での学校が授業の一環としてとらえ、参加されている学生の方が増えていました。とっても良いPRになったと思います。



マッチングプラザ2015の講演で、前津山中央訪問看護ステーション管理者の、西川秀香さんが、発表されたものをご紹介します。

雨にも負けず
 風にも負けず
 雪にも夏の暑さにも負けぬ
 丈夫なからだをもち
 怒はなく
 決して怒らず
 いつも静かに笑っている
 一日に 訪問4件と
 聴診器と自らの6感をもち
 あらゆることを
 自分の主観を入れずに
 よく見聞きし分かり
 そして忘れず
 岡山県内に109ヶ所
 小さな事業所で少人数でも
 東に病気の子供あれば
 夜もいとわず訪問し
 西に看護が必要な人あれば
 行ってその苦痛を軽減し
 南に死にそうな人あれば
 行ってこわがらなくてもいいといい
 北に心病む人あれば
 気持ち落ち着けるよう話を聞き
 日照りの時はOS-1を持ち
 寒さの夏は車の窓全開で
 みんなに看護師さんと呼ばれ
 貴方が来ると元気になれる
 また来てほしいと思ってもらえる
 そういう訪問看護師に
 わたしはなりたい

20周年記念事業特別委員会について

20周年記念事業特別委員会 副委員長 仕田原明珠

平成8年に岡山県訪問看護ステーション連絡協議会が、会員数42施設で発足し、平成27年現在、会員数114施設と発展してきました。平成25年には、一般社団法人格を取得することができました。そして、当協議会は平成28年に20周年を迎えます。これも諸先輩方・そして現在なお活躍されている方々のおかげと感謝しております。

それに伴い、20周年記念事業を計画いたしました。平成27年6月27日～20周年記念事業終了時まで、重平典子委員長のもと、広報委員を含め、10名の委員により構成された20周年記念特別事業委員会が発足いたしました。5周年、10周年と経て20周年を迎える来年まで、皆様の汗と努力の結晶を集結し、皆様とともに祝いしていきたいと考えております。至らない事も多々あるとは思いますが、皆様にもご指導・ご協力いただき、頑張っていきたいと考えております。委員一同、精一杯努めますので、どうかよろしく願いいたします。

編集後記

今年の夏は天気が安定せず、台風が来たかと思えば、高温で熱中症の心配をしたりと、気が休まる暇がありませんでした。火山の噴火、地震と改めて自然の脅威を感じますが、利用者様も自分も穏やかに毎日が送れるように皆で力をあわせて頑張りましょう。

広報委員一同